

お客様からの心に残った一言

「**ダサくて地味だがモノは良い。それが「KOD」のいいところ**」
 建築現場のプロの方からお褒めの言葉(?)をいただいた瞬間でした。



代表者/代表取締役 小寺 建樹 氏

これは「KOD」ブランドが長年市場の流行に流されることなく、「技術と品質」にこだわりユーザーの立場に立ったもの造りをしてきたことへのありがたいお褒めのお言葉だと思います。

わが国で初めて水平器を製造したアカツキ製作所は間もなく100周年を迎えます。

大正8年創業以来90年余にわたり水平器業界のパイオニア的存在として国内外の市場において、変わらぬ「ものづくり精神」と「技術」を継承し、「信頼のおける品質と精度」をモットーとしてあらゆるニーズに応えてきた専門メーカーである株式会社アカツキ製作所の小寺社長にお話をお伺いしました。

はじめに

当社は、創業者の小寺傳次郎が大阪市港区市岡の地において大正8年(1919年)、測定器メーカーとして、わが国初の国産水平器を製造いたしました。昭和19年には戦災に見舞われ、今の「綾部」の地へと疎開・移転してまいりました。創業以来、熟練した技術者が素材の加工から組立てまで一貫生産し、特に気泡管の製造、フレームの加工、組立、精度調整等一連の高度な技術と厳格な品質管理により、平成13年7月には品質マネジメントシステムであるISO9001を認証取得しました。

「KOD」ブランドに込められた思い

「KOD」のロゴの意味は、創業者「小寺傳次郎」のイニシャル「K」と「D」を表わしており、真ん中の「O」は気泡をモチーフにするなどユニークな商標となっています。これまで特に業態を変えることなく、様々な水平器のみを造り続けてきたことが当社の強みになっていると思います。当社製品の殆どは自社開発型製品で、まず図面を引くところから始まり、独自の市場調査を行い、使い勝手の良い「製品」かどうかを判断したうえで商品化することを一貫して行ってまいりました。お客様からのちょっとした要望やニーズでも丹念に拾い上げて製品に反映させ、また多品種小ロット生産にも対応できるようにするなど先代から引き継いだ訓えを守ってきたことが、97年間商売をやってこられた秘訣だと思います。しかしながら、今日のようなモノが溢れる時代にあって、特に「水平器」は紀元前から測定

機としての原理が確立されており、他の道具のように新規性のあるものを創出することは非常に困難です。

普段心がけていること

お客様からの一番嬉しい声は、商品の新企画が持込まれた対応で、「もう図面ができたの?もう試作品ができたの?」とそのスピードに驚かれた時です。朝、取引先の営業マンから依頼があったものに対して、その日の夕刻には図面を仕上げて届けています。しかし、全ての問い合わせに即日対応している訳ではなく費用対効果を検討しつつ、「良い仕事」であるかどうかを判断しながら進めています。最終的にその注文を受けるかどうかは経営者が判断することになるため、経営者にとって「カン」、すなわち「決断力」が重要な資質となってきます。その「決断力」を鍛えるためには経営者として様々な場面に出会い経験を積むことが非常に重要なことと考えています。

水平器、気泡管の技術力の真髄をみる

専門的になります。水平器の感度は、気泡管の内面にR(カーブ)が加工されており、このR(カーブ)がゆるい(大きい)と少しの傾きでも感じ高感度になります。逆にこのR(カーブ)がきつい(小さい)と低感度ということになります。例えば、曲率半径1,000Rの気泡管ともなれば、ほんの4~5cmの短い管の内面に曲率半径1,000Rを実現する訳ですから、ほとんど真平らにする大変な作業です。この精密なほとんど真平らに近いR加工技術が非常に難しく職人技を必要とします。昔は、ガラスの管を曲率半径に合わせて曲げていました。しかし現在では、樹脂の管の内面を「削る」技術が主流となり、当社では樹脂成型から精密切削まで機械化し高精度で高品質の製品を大量に生産しており、これが当社の強みとなっています。



品質管理へのこだわり

出荷前の検査は、検査員が製品を一つ一つ全数検査を行い、また画像検査機器を使用した画像認識処理検査、つまりカメラで撮った画像で精度検査を行うことも併用しています。検査後の製品についてはどんな小さな製品でもシリアルナンバーが付番され、そのシリアルナンバーにより、最終検査日・製造者など製造履歴が管理されています。これらの品質管理も「KOD」ブランドの強みとなっています。

「KOD」ブランドの威力

水平器専門外の作業工具大手メーカーが他社水平器メーカーに「デジタル水平器」のOEM生産を委託し販売したところ作業工具大手メーカーのブランドでは殆ど売れませんでした。ところがその製品を「KOD」ブランドで販売してはどうかという提案をいただき、不安を抱えながらも販売を開始いたしました。販売開始に当たっては当社独自の検査方法で検査し、紛らわしい製品は全て返品するなど徹底した品質管理を行い、現在ではベストセラー商品へと成長しています。当社の検査方法に対する信頼がユーザー様へ通じたのだと思いますが、あらためて先人の残してくれた「KOD」ブランドの底力であると確信させられました。



現在の代表的な製品

海外市場への展開

海外からの発注や問い合わせが、カンボジアやマレーシア、ベトナム、タイなど今後発展が見込まれる東南アジアの国々から多く寄せられています。一方、これらの国では中国製の水平器も流通しており、当社のコピー製品も多々あります。しかし、当社の品質と精度まではコピーするのは難しく、どうしても日本製のもの欲しいとホームページを閲覧して問い合わせをいただくことがあります。本来、建築の際には、「土台」がしっかりしていなければいかに立派な建物を建てても意味がないことは周知のとおりです。今後、東南アジアにおいても建築工法の技能レベルアップや建築に対する考え方、とりわけ土台の精度がもっと重視されるようになれば、当社の水平器がもっと必要とされ、出荷高も伸びていくと期待しております。また、

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL:075-315-8635 FAX:075-315-9497 E-mail:kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp

南米では煉瓦造りの家が多く、水平器を使用する機会が多いため最近ではブラジル、チリ向けに鉄製水平器の輸出が増えてきています。

BtoBからBtoCへ

当社では従来から販売ルートは代理店経由に限定するなど、「BtoB」のビジネススタイルとなっています。しかし、これでは代理店に製品を納めた後、お客様からの要望や情報がほとんど入ってこないため、今後ユーザー目線での製品開発を目指していくためにも「BtoB」から「BtoC」へと変化させていく必要があると思います。また、最近オープンさせた当社のインターネット販売サイトでは、測定器に特化した商品のラインナップを揃え、デモ器の無料貸出など色々な仕掛けも考えています。将来的には、インターネット販売会社を設立、運営して行きたいと考えています。

デモ器が試せて購入できる
測定器専門ショップ

ショップ名:「デモ測る計.com」 URL <http://sokutei.shop-pro.jp/>

デモ測る計.com

最後に

「水平器」といえば、「KOD」＝「アカツキ」と言っていただけのように、先人から引き継いできたブランドを大切に、皆様の期待と信頼を得られるよう精進していきたいと考えています。そのためには、しっかりとユーザー様の声に耳を傾け、ユーザー様の心をしっかりとつかんだ改善に取り組んでいかなければならないと思います。また「BtoC」への取り組みとして「インターネット販売」というお客様との新しい形のパイプも築いていきたいと思っています。



90年の歴史を物語る水平器

Company Data

代表者/代表取締役/小寺 建樹
所在地/〒623-0051 京都府綾部市
井倉新町石風呂53
設立/大正8年
資本金/4,000万円
従業員/35人
事業内容/各種水平器、アイベル、下げ振り、
測定工具、製造販売

株式会社アカツキ製作所

